平成 29 年度 事業報告

公益財団法人 栃木県農業振興公社

## 平成29年度公益財団法人栃木県農業振興公社事業報告書

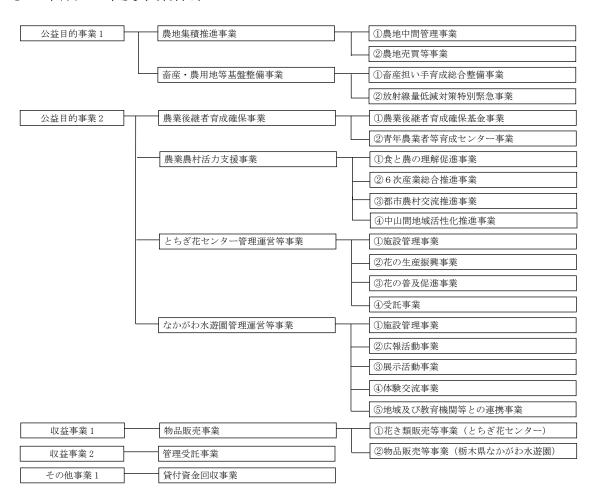
公益財団法人として本県農業の更なる発展と農村地域の振興を図るため、農業者はもとより消費者や国、県及び関係機関・団体と協力しながら、「平成 29 年度事業体系」に掲げた各種事業を実施した。

農地中間管理事業については、農地中間管理機構の体制強化を図り、担い手への農地の集積・集約化を推進した。また、畜産・農用地等基盤整備事業では、畜産経営の合理的・安定的な発展を推進するための施設等を整備した。

さらに、就農希望者や青年農業者に対する農業後継者育成確保事業や、とちぎの豊かな食 と農を理解促進する事業、6次産業化や農業農村活性化のための支援事業を実施した。

一方、県の指定管理施設である「とちぎ花センター」では、開園 25 周年を記念した式典及び関連事業を開催したほか、花と苺のフェスティバル開催など県産花きの普及・振興に努めた。なかがわ水遊園では、入館者 400 万人を達成したほか周辺自治体や関連団体と連携事業を開催し、魅力ある施設の運営と地域の活性化に努めた。

## ○ 平成 29 年度事業体系



## 公益目的事業1

# I 農地集積推進事業

農用地等の利用の効率化及び高度化を促進するため、県、市町、農業委員会及び農地利用集積円滑化団体等との連携の下に、社会・経済情勢の変化や農用地移動の動向等に即しつつ、農地中間管理機構としての体制整備を図りながら、農地中間管理事業及び農地売買等事業を実施した。

## 1 農地中間管理事業 (公1・1 農地利用集積に関する事業)

農地中間管理機構として農地を借受け、担い手に集約して貸付ける事業及び担い手に貸し付けるまでの 農地を管理する事業を実施し、担い手への農地集積及び集約化を図った。

項目	事業内容				
曲山の谷州	○借入(農地中間管理権設定) 1,491ha H26~累計 4,602ha ○貸付(農用地利用配分計画) 1,465ha H26~累計 4,156ha ※H26~H29 実績				
農地の貸借	年度 H26 H27 H28 H29				
	借入 (ha) 509 1,453 1,162 1,491				
	貸付 (ha) 381 1,250 1,116 1,465				
事業の推進	① 人・農地プランの重点支援地域における地域ぐるみでの機構事業活用の推進を図った。         [18 市町 44 地域] ② 農業農村整備事業との連携強化を図り、機構事業活用の推進を図った。         [7 市町 10 地域]				
推進体制の強化	<ul> <li>① 各市町・各市町農地利用集積円滑化団体・各農業協同組合等と業務委託を締結し、市町等関係機関との連携を図った。         <ul> <li>(25 市町 委託先 51 機関)</li> </ul> </li> <li>② 業務委託先の市町等へ「機構集積協力員」を設置し事業の推進を図った。             <ul> <li>(14 市町 23 名)</li> </ul> </li> <li>③ 農地利用最適化推進委員と機構との円滑な連携活動を確立し、機構事業の推進を図った。</li> </ul>				
事業の啓発・普及	事業の周知を図るためキャラバンを実施し、関係機関団体への啓発・普及を図った。 新聞広告、ラジオCM、リーフレット配布等の広報活動により、農業者等への周知、理解促進を図った。 新聞広告 下野新聞・読売新聞・朝日新聞・毎日新聞 全国農業新聞 ラジオCM 栃木放送・エフエム栃木 テレビCM とちぎテレビ リーフレット等 約10万部 農地集積の円滑な推進のため、農用地利用集積連携会議や研修会等を実施し、関係機関団体との情報の共有化等を図った。				

# 2 農地売買等事業 (公1・1 農地利用集積に関する事業)

規模縮小を志向する農家等から農用地を買入れ、規模拡大を志向する認定農業者等に売渡す事業を実施し、農用地の利用集積を図った。

	事業名			件数(件)	面積(ha)	金額 (千円)
			農地売買等支援事業	203	115. 9	569, 437
1	買	入	公社営農地売買支援事業	31	12.8	61, 743
			計	234	128. 7	631, 180
			農地売買等支援事業	190	119. 3	601, 019
2	売	渡	公社営農地売買支援事業	37	12.8	60, 477
			計	227	132. 1	661, 496

## ※H25~H29 実績

	年度	H25	H26	H27	H28	H29
	件数(件)	214	185	222	257	234
買入	面積(ha)	123. 1	96. 5	108. 1	124. 4	128. 7
入	合計金額(千円)	780, 314	593, 487	599, 554	635, 849	631, 180
	10a 単価(千円)	634	615	555	511	490
	件数(件)	194	185	197	238	227
売渡	面積(ha)	111. 0	105. 3	110. 2	121. 9	132. 2
	合計金額(千円)	729, 269	655, 212	652, 669	648, 128	661, 496

# Ⅱ 畜産・農用地等基盤整備事業

生産性の高い畜産経営の確立及び牧草地等の放射線低減を図るため、県・市町等の関係機関や 農業団体と連携し、生産基盤の整備や環境整備等に関する次の事業を実施した。

## 【畜産関係基盤整備事業の総括表】

	地区名 事業期間		総事業費	Н29			
事業名		松尹未复 (千円)	施工箇所	事業 参加者	H29 事業費 (千円)	進捗率	
	日光高原	H25∼H29	832, 987	鹿沼市 日光市	4名	65, 463	100. 0%
畜産担い手	栃木塩那	H27∼H31	986, 100	那須烏山市 那珂川町	5名	262, 964	26. 6%
育成総合整備事業	大田原・ 那須	H28∼H32	810, 000	大田原市 那須町	3名	109, 310	14. 4%
	那須塩原	H29∼H33	2, 100, 000	那須塩原市	5名	16, 070	0.8%
	4 地区			計	17名	453, 807	
放射線量低減対策特別緊急事業		H23∼H29		日光市 那須塩原市 矢板市	2市 1組合	2, 916	
合 計				H29 <sup>‡</sup>	事業費実績	456, 723	

## 1 畜産担い手育成総合整備事業 (公1・2 畜産・農用地等基盤整備事業)

畜産産地として今後安定的な発展が見込まれる地域において、生産性の高い経営体群の育成と、これを核とした畜産主産地の再編整備を進めることにより、畜産経営の合理的かつ安定的な発展を積極的に推進するため、草地、畜舎、家畜排せつ物処理施設等の整備事業を実施した。

地区名	予算 区分	施工箇所	事業 参加者	事業費(千円)	主な事業内容
	1100 45 +4	鹿沼市	1名	11, 505	・酪農設備 1式
日光高原	H28 繰越	日光市	1名	17, 265	・施設用地造成 0.15ha
	H29	日光市	2名	36, 693	・草地整備 27.82ha
		那須烏山市	1名	28, 958	・畜舎設備 1式
₩ ₩ 30	H28 繰越	那珂川町	1名	4,000	・草地造成 1.98ha ・牧柵 498m
栃木塩那	Н29	那須烏山市	2名	228, 161	・畜舎       2棟         ・尿溜槽       1基
		那珂川町	1名	1, 845	・牧柵 226m
大田原・那須	須 H29	大田原市	1名	97, 498	・畜舎 1 棟 ・施設用地造成 0.44ha
八口原・加須		那須町	2名	11,812	・飼料畑造成 3.04ha ・飼料畑造整備 0.51ha
那須塩原	H29	那須塩原市	5名	16, 070	・飼料畑造成 2.08ha
	H28 繰越		4名	61, 728	
合計	H29		13名	392, 079	
	計		17名	453, 807	

## 2 放射線量低減対策特別緊急事業 (公1・2 畜産・農用地等基盤整備事業)

東日本大震災による原子力災害により汚染された公共牧場等の永年牧草吸収抑制対策等及び指定廃 棄物一時保管業務の事業を実施し、放射線量の低減を図った。

区 分 (対 象)	施工箇所	事業費 (千円)	事業量	主な事業内容
環境省事業	那須塩原市	1,015	3 箇所	指定廃棄物の一時保管工事
(牧草等放射性指定廃棄物)	那須町	411	1 箇所	の設計・施工監理
農水省事業 (県内公共牧場)	日光市	1, 490	5. 85ha	永年牧草地の反転耕・深耕等 による吸収抑制対策
合計	2,916			

## 公益目的事業2

## Ⅲ 農業後継者育成確保事業

次代を担う優れた青年農業者等の育成・確保を図るため、県及び関係機関・団体等との連携のもとに、 農業後継者育成確保基金事業及び青年農業者等育成センター事業を実施した。

## 1 農業後継者育成確保基金事業(公2・1 自主事業)

青少年の就農促進と青年農業者の育成を図るため、県・市町・農業団体・農業者等の協力で造成された農業後継者育成基金の運用益により、次の事業を実施した。

#### (1)国際化対応サポート事業

国際化に対応できる経営感覚に優れた農業者を育成するため、就農希望の青少年(高校生)や青年農業者に対する海外派遣さらには長期研修を支援した。

事業名	事業内容
①農業学生海外研修支援事業	国際化に対応可能な青年農業者を確保するため、農業高校生の海外研修事業を支援した。 ニュージーランド3名派遣 (H29.7.9~7.21)
②海外長期研修支援事業	農業先進国で優れた技術等を習得するため、概ね1年以上の農業研修 を行う青年を支援した。 アメリカ2名派遣(宇都宮市、栃木市)
③海外短期派遣研修事業	国際化に対応できる経営感覚に優れた農業者を育成するため、農業先進国に研修団を派遣し、青年農業者の資質向上を図った。 東南アジア 13 名派遣 (マレーシア→インドネシア H29.11.24~11.29 6名) (マレーシア→シンガポール H30.1.20~1.25 7名)

## (2)担い手チャレンジ支援事業

青年農業者等を対象に、農業及び農家生活等に関する知識・技術の向上を図るための研究及びプロジェクト活動を支援した。

事業名	事業内容
経営発展活動支援事業	青年農業者(組織)が行う技術開発等の課題解決のための調査・研究活動を支援した。 2件(鹿沼市、大田原市)

## (3)組織活動サポート事業

青年農業者の仲間づくりや自己研鑽を図るため、自主的な組織活動を支援した。

事業名	事業内容
①組織活動支援事業	青年農業者自らが組織し、積極的な活動を行っている組織を支援した。 栃木県青少年クラブ協議会
②青年農業者地域貢献支援事業	青年農業者の組織が行う、地域に対する奉仕活動や活性化活動、子供たちへの農業の理解促進活動を支援した。 7市町青少年クラブ協議会、1地区青少年クラブ協議会
③全国技術交流派遣事業	全国組織等が行う研修会へ青年農業者を派遣し、県外青年農業者との交流を行い、技術の向上及び経営者としての資質の向上を図った。 関東ブロック農村青少年クラブプロジェクト実績発表会 H29.10.3、4 開催 33 名派遣 (茨城県) 全国農業青年交換大会 H29.10.19、20 開催 3 名派遣 (愛媛県) 全国青年農業者会議 H30.3.8、9 開催 6 名派遣 (東京都)

## (4)いきいき農業・農村情報発信事業

青年農業者が自信と誇りを持って農業に取り組むことができるよう、消費者との交流を通して、農業・農村の理解促進を図るための活動を支援した。

事業名	事業内容
青年農業者と消費者の交流 促進支援事業	県内の青年農業者が一堂に会し、消費者に対し農業・農村の素晴らしさ等の情報を発信する活動を支援した。  フレッシュファーマーズマルシェ H29. 10. 14 開催 来場者 3,800 人

#### 2 青年農業者等育成センター事業(公2・1自主事業)

本県農業の担い手となる幅広い就農希望者に対し、就農促進啓発、就農相談活動並びに就農支援情報 (農地情報等)の収集、蓄積、情報提供を行うとともに、就農を目指す青年が研修を受ける期間(2 年間)における農業次世代投資資金を交付した。

#### (1) 就農支援事業

本県農業の担い手となる幅広い就農希望者を対象に、就農促進啓発や就農相談活動等を実施するとともに、就農支援情報(農地情報等)の収集、蓄積、情報提供等、就農促進を図る事業を展開した。

事業名	事業内容
①就農促進啓発事業	新規就農希望者に対する就農促進啓発を行うとともに就農相談活動、新規参入フォーラム、現地セミナー等を実施した。 相談件数 380 件 相談会実施数 14 回 (5、7、9、10、11、12、1、2 月実施) 新規参入フォーラム参加者 64 名 (H29.8.22 開催) 現地セミナー参加者 12 名 (H29.8.22 開催)
②就農サポート事業	就農支援情報(農地情報等)の収集、蓄積、並びに情報提供を行った。 就農情報数 29 件

#### (2)農業次世代人材投資事業(準備型)

次世代を担う農業者を確保・育成するため、就農に向けて県農業大学校などの教育機関や先進農家等に おいて研修を受ける者に対して研修期間(2年以内)の生活安定に資する資金(年間150万円)を交付した。 交付対象者数51名(新規対象者40名、継続対象者11名)

#### (3) とちぎでいちごを始めようプロジェクト事業

本県の新たないちご生産者を確保するため、いちごに関する幅広い情報を全国に向けた広告やホームページ等による発信を通して、県内外からいちご就農希望者の受入体制の強化を支援した。

事業名	事業内容
とちぎでいちごを始めよう キャンペーン事業	全国に向けた広告、ホームページ等による募集案内や、東京での就農相 談会における特設ブースの設置等により、広く就農希望者を募った。 相談会実施数3回(7、8、2月)

#### (4)雇用就農者確保育成事業

新たに県内の農業法人等への雇用就農を希望する者が、本県で円滑かつ確実に就業して、定着できるよう、県内外から幅広く就業希望者を呼び込むとともに、雇用就農に向けた啓発や相談活動・法人現地見学会・情報発信等を通して雇用就農体制強化を支援した。

求人ブース出展法人5社

<参考>新規就農者数(平成28年5月1日から平成29年4月30日までに就農または雇用就農した者)

- ・新規自営就農者 247名 (うち青年農業者177名)
- ・新規雇用就農者 97名 (うち青年農業者 84名)

## IV 農業農村活力支援事業

人が生きる上で最も重要な「食」と、これを支える「農業・農村」の大切さを一人でも多くの県民に理解してもらうとともに、農業者による生産・加工・販売の一体化による6次産業化や都市と農村の交流、中山間地域における農地保全活動など、農業農村の活力向上を支援した。

#### 1 食と農の理解促進事業

生命を維持し、健康であり続けるために必要な「食」と、これを支える「農業・農村」の大切さをより多くの県民に伝えるために以下の事業を行った。

(1)とちぎアグリプラザ管理運営事業(公2・1 自主事業)

県民の食料・農業・農村に対する理解を深め、これらの振興を図るため、その拠点となるとちぎアグリプラザを適切に管理・運営するとともに、県民に食と農の理解促進を図った。

- ①施設概要 地上 3 階、延床面積 1,804.72 m²
- ②食と農に関する相談・情報提供
  - ・アグリプラザ利用者 11,547 名 (うち食と農の交流室利用者 1,293 名)
  - ・食と農に関する図書類や教材等の貸出 130件
  - ・各種イベントにおける食と農の理解促進活動とアグリプラザPR 5回

#### (2) 食と農の理解促進プロモーション事業(公2・1自主事業)

県民に食と農の理解を広げるための実践プログラム「つなごう!食と農の実践講座」を開催し、講座で得た知識や情報を地域との交流を通じて伝える「食と農の伝道者」の育成を図った。

また、食・農業・農村の理解と関心を深めるための各種コンクールを開催した。 さらに、食と農の理解促進のための各種情報の収集・提供、PR活動を実施した。

項目	事 業 内 容
①「つなごう!食と農実践講座」の開催	・「食と農の伝道者」としての人材を育成する大人向け講座 9~12月 (7回) 受講者 延べ130名 ・「ジュニア食と農の伝道者」を養成する親子向け講座 10~12月 (3回) 受講者 25組 67名
②「児童画コンクール」「写真コンテスト」の開催	<ul> <li>・児童画コンクール(小学生対象)</li> <li>応募点数1,457点(県内小学校 157校参加)</li> <li>知事賞、教育長賞、農政部長賞授与(各3点ずつ)</li> <li>県庁15Fロビー展示(10月、2月)</li> <li>・写真コンテスト(中高生対象)</li> <li>応募点数160点(県内14の中・高等学校参加)</li> <li>知事賞(2点)、農政部長賞(4点)、入選(20点)授与県庁15Fロビー展示(10月、2月)</li> </ul>
③情報の収集・提供	・情報誌「とちぎ発食と農」の発行:2回(8月、2月) ・とちぎ食と農ふれあいフェア等でのPR活動:5回 (7月、9月、10月、11月、3月)

#### (3)とちぎ食育応援団活用促進事業(公2・2 受託事業)

食育を継続的に推進するため、未就学児とその保護者を対象とした「とちぎっ子食育出前講座」等へ食育応援団員を派遣するほか、団員の資質向上を目的とした研修会の開催や情報発信を行った。

項目	事 業 内 容
①とちぎっ子食育出前講座等への食育 応援団の派遣	・保育所・幼稚園等への応援団員の派遣 開催数 45 回、派遣応援団員数延べ 112 名 参加者数 1,979 名
②活動力アップ研修会の開催	・食育活動のための資質向上研修会の開催 1回(9月)、参加者30名
③活動PR情報誌の作成・配布	・幼稚園・保育園、応援団員、関係機関等への情報提供 2回(7月、3月)
④食育応援団員の募集・登録・名簿作成	・募集、登録事務及び登録証の作成等 登録応援団員数 444 名(うち新規 4 名)

#### 2 6次產業総合推進事業

農業・農村に存在する豊かな「地域資源」を活用し、農業者による生産・加工・販売の一体化や異業種との連携による6次産業(1次産業×2次産業×3次産業)の創出を促し、農業・農村の活力向上を図る取組を支援した。

#### (1)6次産業化サポートセンター運営事業(公2・2 受託事業)

農業の6次産業化を促進するため6次産業化サポートセンターとして、農業者等に対して実践アドバイザー等を派遣し、総合的なサポートを行うとともに、研修会等を開催した。

項目	事 業 内 容
①6次産業化への取組支援	6次産業化を推進するため、農業者等からの相談窓口を設置するとともに、推進会議の開催や情報の発信を行った。また、6次産業化実践アドバイザーを派遣し、農業者等が行う生産から商品開発、事業化までを支援するとともに、総合化事業計画認定者のフォローアップを行った。 ・推進会議:3回(7月、2月、3月)・農業者等からの相談件数:105件・栃木6次産業化ガイドブック作成:10,000部(3月)・アドバイザー派遣:延べ108回・総合化事業計画認定数:5件(H30年3月末現在 50件)
②6次産業化を実践する人材育成	新たな農業を創造できる優れた経営感覚の農業者等を育成するため、インターンシップを含めた「6次産業化実践塾」を開催した。 ・人材育成研修会:6日(受講者:延べ66名) ・インターンシップ研修:全7日5箇所(受講者:延べ34名)

## 3 都市農村交流推進事業

グリーン・ツーリズムによる都市と農村地域の交流を促進し、更なる地域活性化を図るため、農産物 直売所等の都市農村交流施設が、一層地域の拠点施設としての役割を果たせるよう以下の取組を実施し た。

#### (1)都市農村交流施設活性化推進事業(公2・1 自主事業)

項目	事 業 内 容
	県内の都市農村交流施設状況を調査・集計し、その結果を取りまと
	め、問題点や課題を整理分析した。
①都市農村交流施設状況調査・分析	・都市農村交流施設設置状況調査(5月)
	・都市農村交流施設のニーズ調査分析
	出荷者、利用者、運営者に対する調査を実施 4 施設(8~11 月)
	・都市農村交流施設活性化推進員の設置 1名(4~3月)
	・推進員による都市農村交流施設の課題等に対する指導・助言及び
	専門家の派遣
	・中小企業診断士を派遣し、直売所運営改善を支援
②都市農村交流施設活性化推進員に よる支援活動	2 施設(12、1月)
よる又仮伯野	・都市農村交流施設の機能強化に関するアドバイザーを派遣
	2 施設(9~1 月)
	・都市農村交流施設活性化に関する情報提供
	・情報誌「都市農村交流施設だより」の作成配付(3月)

#### 4 中山間地域活性化推進事業

中山間地域の多面的機能の保全を目的に、地域住民と都市住民等の協働によるボランティア活動を展開するとともに、若い世代に対し農地保全活動等を通じた自然豊かな農村の理解の促進を進めた。

## (1)とちぎ夢大地応援団推進事業(公2・2 受託事業)

項目	事 業 内 容
①広報活動の実施	夢大地応援団ボランティア活動の情報収集と発信 ・情報誌「はばたけ夢大地」作成配付:2回(11月、3月) ・若い応援団員募集資料作成 :1回(3月)
②ボランティア活動実施支援	ボランティア活動を実施する地域の活動支援を行った。 ・推進地区:1地区(延べ参加者 87名) ・継続地区:6地区(延べ参加者 222名)
③カレッジ活動の開催	若い世代を対象にした夢大地応援団カレッジ活動を開催した。 ・宇都宮大学学生を対象に3回実施(延べ参加者144名)
④地域と都市住民を結ぶメールマガ ジンの作成・発信	夢大地応援団ボランティア活動の募集や結果報告等の情報をメルマガ で発信し、地域と都市住民の理解促進を図った。 ・夢大地応援団員:登録者数 213 名 (うち新規 1 名)

## V とちぎ花センター管理運営等事業

本県における花の振興と、花とのふれあいによる心豊かな人づくりを目的に、県が栃木市に 設置した「とちぎ花センター」の管理運営業務を実施した。

また、県産花きの情報発信と産地や生産者のPR、園芸知識や花の普及・消費拡大を図るとともに、近隣施設と連携しながら地域活性化の拠点施設としての一翼を担う事業を実施した。 さらに10月6日に開園25周年記念式典を開催するとともに、関連事業を展開した。

#### 1 指定管理者の指定に基づく管理運営業務(公2・3指定管理事業)

#### (1) 施設管理事業

センター施設の維持管理、植物の育成管理、入館料等の徴収等の業務を実施した。

項目	施 設 の 内 容 等
建物	16 棟 延べ床面積:6,392 m <sup>2</sup> 鑑賞大温室(愛称:とちはなちゃんドーム)2,225 m <sup>2</sup> 展示温室3棟、生産温室5棟、ホール棟 ほか
敷地	面積 約 3. 1ha 大花壇 1,400 ㎡ ほか
入園・入館者実績	入園者数:333,791名(計画320,000名) 鑑賞大温室有料入館者数:19,223名(計画22,000名)

#### (2) 花の生産振興事業

展示温室では、県産花きを用いたくらしの中における花飾りを提案し、家庭でできる花の利用を促進した。また、生産者組織と連携した冬の鉢花展や洋らん展等の企画展示や本県で開発された「きらきら星」「るりおとめ」などのPR展示と販売、後継者組織「花DAN」によるトークショーなどの消費者と生産者の交流イベントの開催、県産花き紹介コーナーの充実とユリや洋ラン等の秀品の販売を実施した。

#### (3) 花の普及促進事業

花とのふれあいを通して、県産花きの普及と来園者に植物を介した「癒し」を提供するため、 花壇の植栽や企画展、フラワーフェスティバル等のイベントを開催した。また、花の持つ多様な 機能を生かした体験教室や花育講座等に取り組んだ。

項目	業務内容
企画展の開催	鑑賞大温室では熱帯・亜熱帯植物及び砂漠地帯の植物の常設展示のほか、第1企画展示室では年間8回のテーマ別展示を実施した。 ①H29. 5. 9 ~ 6. 4 あじさい展 ②H29. 6. 6 ~ 7.17 パイナップルの仲間たち展 ③H29. 7.19 ~10. 1 不思議な植物展 (H29. 7.19 ~ 8.27 第一章/H29. 9. 2 ~10. 1 第二章) ④H29.10. 3 ~11.19 東南アジアの植物展 ⑤H29.11.21 ~12.24 冬の鉢花展 ⑥H30. 1. 2 ~ 2. 4 早春の花展 ⑦H30. 2.17 ~ 2.25 春のフラワーアレンジ展 ⑧H30. 2.27 ~ 4.22 洋ラン展

	①大花壇
	年3回のデザイン花壇の植栽を実施した。
	・(H28.11.1) ~H29.5.7 パンジー・ビオラ
	・H29.5.15~7.9 マリーゴールド・コリウス
	・H29.7.17~10.9 トレニア・メランポジウム(25 周年)
   花壇の植栽	・H29.10.17~(H30.5.6)パンジー・ビオラ(花と苺)
16増ツ1他秋	※県民ボランティア「とちはなちゃんファンクラブ」と協働で
	実施した。
	②中小花壇・フラワータワー
	多品目の季節の花苗を植栽するとともに、バラ園の管理を行った。
	※バラ園の管理は、ボランティア組織「ローズクラブ」を中心に
	定期的に管理を行った。
	①園芸教室(27 回開催 参加者 464 名)
	寄せ植えづくりや家庭の日の親子体験教室など、子供から大人まで
体験教室	楽しめる体験型の教室を開催した。
	②とちはなカレッジ(受講者 59 名)
	花の専門的知識を希望する方を対象に、「バラ講座」「ガーデニング
	講座」「草木染め講座」を開講し、花きの普及に努めた。
	①花育講座
	栃木市内の小学生を対象に、生産温室を活用して植物の植え付けか
	ら収穫まで体験する花育講座を開催した。
花育の取組	②地元小学生の招待
10 10 42 48/197	夏休み期間に栃木市及び新たに佐野市の小学生をとちはなちゃんド
	- ム(鑑賞大温室)に招待し、植物に親しむきっかけづくりとした。
	③園芸相談
	植物の栽培管理等についての相談に随時対応した。
	季節に合わせて、年間8回のイベント等を開催した。その中で、開園
	時間を延長して夜のイベントも開催した。
	①H29. 5. 3 ~ 5. 7 春のフラワーフェスティバル
	②H29. 5.13 ~ 6. 4 ローズフェスタ
	(ナイトガーデン 5.20~21、6.3~4)
イベント	③H29. 6. 3 ~ 6. 4 ホタルまつり(夜イベント)
	④H29. 8.11 ~ 8.13 密林で肝試し(夜イベント)
	⑤H29.10.6 開園 25 周年記念式典
	⑥H29.10.7 ~10.9 秋のフラワーフェスティバル
	⑦H29.12.16 ~12.17、23~24 クリスマスファンタジー(夜イベント)
	※H30. 2.10 ~ 2.11 県主催の花と苺のフェスティバルが当センタ
	- を会場として開催された。
園芸福祉活動	近隣の社会福祉施設等での寄せ植え体験や、75歳以上の方をとちはな
国公田田田到	ちゃんドームに無料招待することで、植物による癒しを提供した。
	1

# (4) 受託事業

国産花きイノベーション事業として、栃木市岩舟町と藤岡町の小・中学校に鉢花を年 4 回配布 し鉢花は児童・生徒が育成管理した。

## 2 附帯事業 (花き類販売等事業) (収1事業 物品販売事業)

公社の自主事業として、花き販売所及びはなカフェの運営を実施した。花き販売所においては 県内生産者の紹介コーナーを充実させるなど県産花き振興に努めた。

## VI なかがわ水遊園管理運営等事業

那珂川の豊かな水と緑に親しみ、水生生物とふれあう場を提供することにより、その沿川地域の自然と文化についての県民の理解を深めるとともに、都市と農村との交流の促進を図ることを目的に、県が大田原市に設置した「栃木県なかがわ水遊園」において、指定管理者の指定に基づく管理運営業務及び附帯事業を実施した。

特に本年度は4月に「おもしろ魚館」入館者400万人を達成し記念式典を開催した。

#### 1 指定管理者の指定に基づく管理運営業務(公2・3 指定管理事業)

#### (1) 施設管理事業

園内各施設の維持管理、植栽管理等の管理業務を実施した。園内及び館内において、四季折々の草花の植栽により来園者に対して、くつろぎと癒しの提供に努めた。

項	目	施設の内容等
建	物	おもしろ魚館 (愛称: フィッシュパル) 展示ゾーン : 延べ床面積 4,500 ㎡ : 総水量 約 600 t : 水槽数 48 基 体験交流ゾーン: 延べ床面積 1,500 ㎡ おさかな研究室、味わい工房、創作工房等
公	園	面積:約25ha 施設:公園サービスステーション(味処ゆづかみ、水遊マート)、お魚ふれあ いステーション、芝生広場、水の広場等
おもし 入館者		入 館 者 数:276,752名 (計画270,000名) 有料入館者数:191,235名 (計画185,270名)

#### (2) 広報活動事業

本園の展示企画や体験講座等各種イベント開催情報を、メディア、行政・教育機関等に配信するほか、SNS等の活用によるリアルタイムの情報発信、集客場所を活用してのPR活動を積極的に展開した。また、来園者へ周辺地域の周遊に向けて地域の情報発信を行うなど、地域の活性化にも努めた。

項目	事 業 内 容
広報配布物	ポスター・チラシ・リーフレット・ミニカレンダー・体験講座メニュー等の配布
広報媒体	有料活用:新聞・テレビ・ラジオ・LINE・野立看板 無料活用:ホームページ・フェイスブック・メールマガジン・新聞・テレビ・ラ ジオ・各種雑誌・市町広報誌

	自治体主催の主な行事等 ・全国ご当地キャラクター大集合in大田原(4月)
	・県庁展示コーナー (4月、7月、10月、12月、3月)
	・ワンダフルとちぎ(5月)
	・県民の日イベント (6月)
	・道の駅みぶ (8月)
	・栃木県農業試験場公開デー(8月)
広報活動	・全国ご当地キャラクタースポーツ大会in大田原(9月)
	・とちぎ動物愛護フェスティバル(9月)
	・とちぎ食と農ふれあいフェア(10月)
	・栃木県酪農フェア(10月)
	・大田原産業文化祭(11月)
	・フェスタインパルティ(11月)
	その他
	・企画展PR広報活動(7月、11月、2月)

## (3) 展示活動事業

水族館の展示テーマである「那珂川から世界の川、そしてあこがれの海へ」に基づき、栃木県を代表する清流「那珂川」と世界を代表する「アマゾン川」の二つの川に注目した展示を行った。また、新たな生物を常設展示に追加するほか、自然環境やニーズを反映しテーマを設定した企画展等を実施した。

項目	事 業 内 容
常設展示	「那珂川から世界の川、そしてあこがれの海へ」 那珂川の水生生物、県内の水生生物、日本の希少魚、熱帯雨林・珊瑚礁の魚等 (約300種、約20,000尾) H29. 5. 9 ~ オオタナゴ、ギンブナ幼魚に代わり、ウチダザリガニ展示 H29. 6.12 ~ 南米淡水フグ展示 H29. 8. 8 ~ アメリカザリガニ、カワアナゴに代わりカマキリ、カムル チー展示 H30. 3. 4 ~ オオタニシ展示 H30. 3. 13 ~ コモンカスベ他展示 H30. 3. 19 ~ ヤマメ幼魚展示
企画展	H29. 3. 1 ~ 5. 7 春の企画展「突撃!となりの外来種」 H29. 7.11 ~ 9. 3 夏の企画展「金魚展~今日からはじめる金魚ライフ~」 ・多種類の金魚の展示ほか、民間企業の協力(家具等 の提供)を得て金魚のいる生活スタイルも展示した。 H29.11.21 ~ H30.1.12 冬の企画展「LightACUARIO ステンドグラスハーモニー」 H30. 3. 6 ~ 5. 6 春の企画展「ズーアクア~水中動物園へようこそ~」
特別展示	H29. 6. 6 ~ 7. 9 夏の企画展 P R 金魚 H29. 8. 3 ~ 10.31 コバルトアユ H29. 10. 3 ~ 11. 5 ハロウィン生物 H29. 12. 19 ~ H30. 1. 14 干支生物 H30. 1. 27 ~ 2. 14 バレンタイン生物 H30. 2. 23 ~ 3. 31 パンダ柄ウナギ、ドジョウ

解説プログラム	バックヤードツアー	水族館内の仕組みや働き等について来館者に説明した。 (学校等団体3,356名、一般735名) 開催:土・日・祝日・夏休み ほか			
	おもしろ魚教室	スタッフによる紙芝居、クイズに答えながら水中の生き物 について楽しく学べる教室を開催した。(216名) 開催:第3日曜日			
主なイベント	H29. $6.10 \sim 6.11$ H29. $7.11 \sim 9.3$ H29. $7.25 \sim 8.23$ H29. $10.3 \sim 11.5$ H29. $12.1 \sim 12.24$ H29. $12.16$ H30. $1.1 \sim 1.14$	ナイトアクアリウム (4回) ハロウィンカルナバル (10.22ハロウィンナイトビュー) サンタの水中散歩 クリスマスナイトビュー 正月関連イベント バレンタインイベント			

# (4) 体験交流事業

都市と農村の交流及び様々な地域資源などについて利用者が「見て、触れて、食べて、感じて」学ぶことを目的に各種体験講座を開催した。また、水族館と連動した体験事業を実施した。

	,	1						
項目	事 業 内 容	体験者数						
おさかな研究室	魚や水生生物等の観察、実験講座 メニュー:川にすむ生物を調べよう等、さかな博士に挑戦!○ ×クイズ、チリメンモンスターをさがせ!、けんび 鏡の使い方をマスターしよう、ザリガニとともだち になろう、自由研究レスキュー等	6, 785 名						
味わい工房	地域の農産物を活用した調理加工講座 メニュー:ソーセージ、かしわもち、草餅、花巻寿司、田舎ま んじゅう、ピザ、クッキー作り等	3,688名						
創作工房	地域の工芸、クラフト等講座 メニュー: 竹細工、木工細工、石絵、まゆクラフト、フラワー アレンジメント、和紙工芸、絵手紙等	5,858名						
お魚ふれあい ステーション	魚のつかみどり、釣り講座 メニュー:つかみどり、マスエサ釣り、五目釣り、ザリガニ釣 り、ルアー・フライ釣り	釣り池 12,721名 つかみどり 2,402名						
体験受講者数合計 31,454名								
その他の事業	H29. 9. 23モクズガニ試食会H29. 10. 3 ~10. 29写生コンクール作品展H29. 11. 26秋の釣り大会H30. 1. 30 ~2. 18水遊園思い出写真展示会H30. 3. 11春の釣り大会							

#### (5) 地域及び教育機関等との連携事業

那珂川沿川地域の自治体・関連施設、地域住民等と連携し、地域資源の紹介や集客イベント の企画及び協力をとおして地場産業・観光の振興等地域活性化への貢献に努めた。

また、地域の水生生物調査や保護活動に協力するほか、学校の実施する「マイチャレンジ」等の就業体験や教職の「社会体験等研修」を受け入れるなど教育活動の支援を行なった。

項目	事 業 内 容		
地域連携事業	H29. 4. 8 那珂川さくらまつり H29. 4. 22 おもしろ魚館入館者 400 万人達成記念式典 H29. 4. 29 アユの放流会&那珂川クリーンアップ大作戦 H29. 5. 20 アクアソーシャルフェス (那珂川清掃活動) H29. 5. 28 鮎まつり H29. 7. 9 那須高原ロングライド H29. 7. 17 じもフェス H29. 9. 10 那珂川大感謝祭 H29. 9. 23 なかがわ里山ポタリング&大田原エコポタ H29. 10. 1、10.8 大田原市婚活イベント H29. 10. 14 アクアソーシャルフェス (那珂川清掃活動) H29. 11. 19 すいゆうえんこだわりマルシェ		
調査研究活動	羽田ミヤコタナゴ再導入事業 (6 回)、農地・水保全水生生物調査支援 (1 6 回)、ウチダザリガニ生息調査 (4 回)、道祖土ミヤコタナゴ保護事業 (1 回)、鍋掛イトヨ保護活動 (4 回)、滝岡ミヤコタナゴ保護事業 (1 回)、那須塩原市魚類部会活動 (2 回)		
教育機関との連携事業	①出張授業 5回 ②職場体験ほかキャリア教育支援 25 校 47 名 (中学校 10 校 28 名、高等学校 3 校 7 名、専門学校 5 校 5 名、 大学 4 校 4 名、教員等 3 校 3 名)		
その他連携事業	<ul> <li>①栃木県水産試験場との連携事業         <ul> <li>・水産試験場研究成果展示 ほか</li> </ul> </li> <li>② (公社)日本動物園水族館協会関連                 AtoZ (アクアとズー) ※県内動物園・水族館3園館連携事業                 ・飼育係体験ツアー 2回                 ・小学校出張授業 2回                 FIGHT7 ※福島、茨城、群馬、栃木の動物園・水族館7園館連携事業                 ・周遊スタンプラリー H29.3.11~11.30                       ・PRキャンペーン 2回 (茨城、栃木)                      その他 生物交換3件 ほか</li></ul>		

## 2 附帯事業(物品販売等事業)(収1事業 物品販売事業)

栃木県なかがわ水遊園におけるおもしろ魚館のショップ及び喫茶コーナー、今年度より公園内食 堂「味処ゆづかみ」の運営を、公社の自主事業として実施した。

# 参考資料 1 主たる会議等

年月日		主要事項			
4月21日 ~	2月8日	とちぎっ子食育出前講座(全45回)			
4月22日		なかがわ水遊園入館者400万人達成			
4月26日		公社事業説明会			
5月20日 ~	1月21日	とちぎ夢大地応援団ボランティア活動(全7回)・カレッジ活動(全3回)			
5月28日 ~	2月4日	新規就農相談会inとちぎ(全5回)			
6月7日		第21回理事会(H28年度決算等)			
6月16日,	2月21日	なかがわ水遊園事業推進懇談会			
6月21日 ~	2月2日	農業次世代人材投資事業審査会(全4回)			
6月21日		農地中間管理事業評価委員会			
6月23日		第15回評議員会(H28年度決算、役員改選等)			
7月23日 ~	2月3日	新・農業人フェア等県外就農相談会(全8回)			
9月4日 ~	12月13日	「つなごう!食と農実践講座」(大人コース全7回・親子コース全3回)			
9月12日 ~	2月23日	「とちぎ6次産業化実践塾」(全6回)			
10月6日		とちぎ花センター開園25周年記念式典			
10月18日 ,	2月14日	農地中間管理事業推進会議			
10月28日		とちぎアグリプラザPR活動(食と農ふれあいフェア他4回出展)			
11月12日 ~	12月1日	公社専任職員採用試験(水産職1名採用)			
11月19日 ,	2月18日	とちぎの農業法人現地見学ツアー(全2回)			
11月24日 ~	11月29日	青年農業者海外派遣研修 (マレーシア・インドネシア)			
1月20日 ~	1月25日	青年農業者海外派遣研修 (マレーシア・シンガポール)			
2月10日 ~	2月11日	第1回花と苺のフェスティバル(とちぎ花センター)			
3月5日		指定管理運営に係るとちぎ花センター第三者評価会議			
3月6日		第23回理事会(H29年度予算案等)			
3月14日		栃木県なかがわ水遊園外部有識者意見交換会			
3月22日		第16回評議員会			

# 参考資料2 評議員・役員・職員等調

# 1 評議員

	区 分		平成30年3月31日現在(名)	平成29年3月31日現在(名)	
評	議員		10	10	

# 2 役員

区 分					平成30年3月31日現在(名)	平成29年3月31日現在(名)		
		常	常勤		3	3		
理	事	非	常	勤	9	8		
			計		12	11		
	監 事			2	2			
	슴 計			14	13			

## 3 職員

						平成30年3月31日現在(名)			平成29年3月31日現在(名)		
	区		分			職員	パート・臨時	計	職員	パート・臨時	計
事	務		局		長	1	0	1	1	0	1
総		務			部	5	0	5	6	1	7
農	地 集	積	推	進	部	13	1	14	13	1	14
農	政	対	角	É	部	7(2)	1	8(2)	7(2)	1	8(2)
事		業			部	8	0	8	8	0	8
と	ちぎれ	七 七	ェン	タ	ĺ	17	8	25	13	11	24
栃	木県な	かか	ぶわり	水遊	遠	36	11	47	33	7	40
合					計	87 (2)	21	108(2)	81(2)	21	102(2)

(注) ( ) 内は県派遣職員で内数

# 事業報告附属明細書

平成29年度事業報告においては、「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものはない。